

自動操舵システムで田植作業をラクに！



田植機に肥料を補充する難波さん

農家さん：アグリ難波 難波 憲明さん〈荒井〉

導入機器：自動操舵システム（アグログローバルCHCナビ NX610）

栽培品目：水稲

〈ポイント 〆〉

＊自動操舵システムで直進走行を自動化！

＊田植走行中に苗の補給も可能！

＊既存の田植機やトラクター等にワンタッチで付け替えOK！

—導入しているスマート農業を教えてください。

難波憲明さん 自動操舵システムは、田植機やトラクターに後付けで、RTK受信機＋タブレット＋ハンドル型操舵装置の3点セットにより、ハンドルを自動制御して直進走行をアシストします。直進走行以外は通常の田植機やトラクターと同様に、苗や肥料の補給、最後の一周は人の手で行います。自動田植機でもこの手間は変わりませんが、この自動操舵システムの方が数百万円も安く済みます。

—導入のきっかけは？

難波さん 以前から農業用ドローンを持っており、GPS機能の良さは知っていました。昨年度、走行しながら苗を補給できるところに魅力を感じて、GPS付田植機を導入しました。しかし、一度ハンドルを取られると軌道修正ができない、走行ラインが重複する等といった不具合があったため、より精度の高いRTKシステムを使用したこの自動操舵システムを導入しました。

—メリットは？

難波さん とにかくラクですね。走行中に1人で苗を補給できるため、30aの水田1枚に対して30分程度で田植えができます。今回はGPS付田植機に設置しましたが、通常の田植機やトラクターに設置しても、同様に直進走行を自動化することが可能です。GPS付田植機や自動運転田植機よりもはるかに安い価格帯で直進走行の自動化を実現できるというのは、大変魅力的だと思います。

—今後のスマート農業の導入について教えてください。

難波さん 栽培管理システムと連携した可変施肥が気になっていますが、まずはこの自動操舵システムをもう1機、父のトラクター用に追加したいですね。ワンタッチで取り外し可能なので、午前中は田植機、午後はトラクターに付け替えて作業することもあるのですが、やはり少々手間なので。

現在、妻と両親の4人で家族経営をしていますが、両親も高齢化してきており、いかに夫婦2人で続けていくかというのが大きな課題です。来年には、今年で耕作をやめてしまう農家さんから水田をひきとって、経営面積を増やす予定もあります。そのため、少人数で効率よく経営していけるよう、省力化できる機器は引き続き導入していきたいと考えています。



直進走行は田植機に任せて、苗を補給。走行中に後ろを向いて作業していることに驚いた通行人から、声をかけられることもあるそう。

本記事に登場したスマート農業具等の詳細はこちら

自動操舵システム
の詳細は [こちら](#)
(農林水産省ホームページ)



農業用ドローン
の詳細は [こちら](#)
(農林水産省ホームページ)

